

余話 [京都市電堀川線(北野線)]

堀川の「堀川第一橋」の下流側に隣接して、斜角で堀川を渡っていた橋梁の、レンガ造りの橋台が残っている。



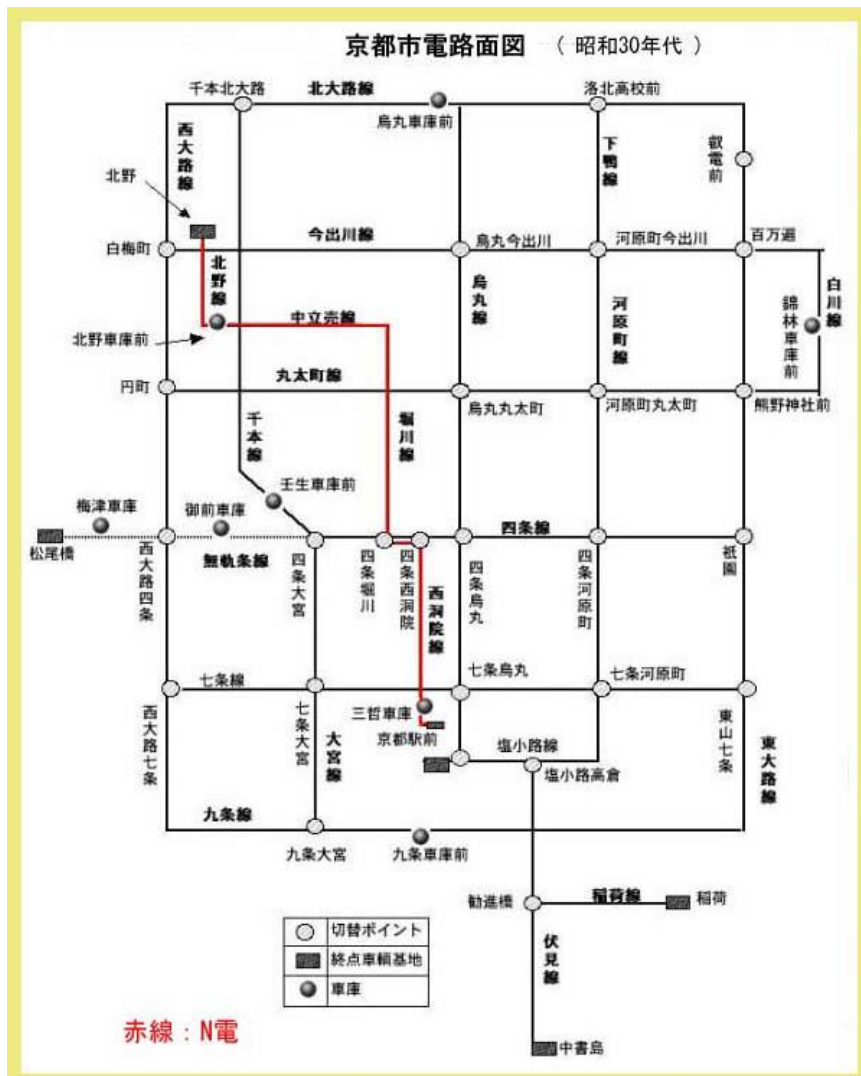
堀川左岸



堀川右岸

これは、京都市電・堀川線の橋台で、市電の前身の「京都電気鉄道」が明治 28 年(1895 年)に建造した歴史的な構造物である。

「京都電気鉄道」は、日本初の路面電車で、集電はポール式、ゲージは 1,067mm の NarrowGauge で、電気は「蹴上発電所」からの給電であった。その後、明治 45 年(1912 年)に京都市が市電(StandardGauge=1,435mm)の営業を開始し、「京都電気鉄道」は大正 7 年(1918 年)に京都市に買収され、京都市電となったが、[京都駅前—四条西洞院—四条堀川—北野]の堀川線だけは、NarrowGauge のまま残され、車両も創業当時の車両で営業されていたので、この営業線は特別に「N 電」と呼ばれていた。



昭和 30 年代の京都市電路面図

昭和30年代になって、モータリゼーションの激進で路面電車が廃止され始め、N電も昭和36年(1961年)7月31日をもって廃止されました。以下現役時代の画像です。断りを除いては、CVV会員が撮影したものです。
(画像をクリックすると拡大して見られます)



堀川橋を渡る「N電」 (Wikipediaより)



堀川通を走る「N電」(北野行)(1961.7.30)

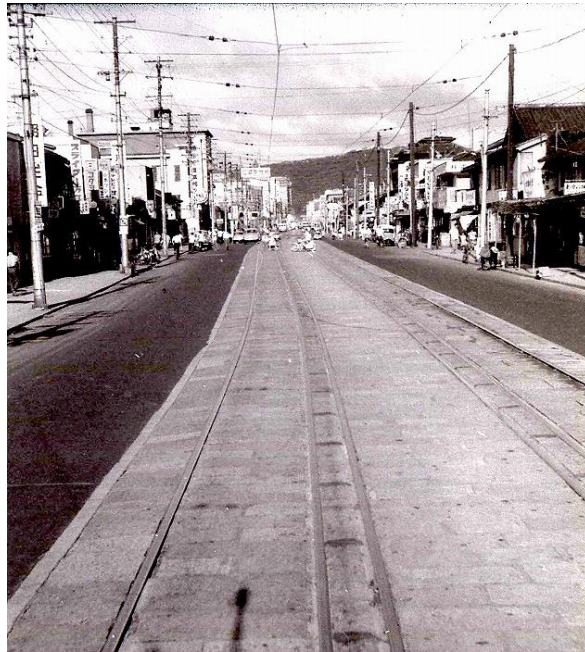


京都駅前 (1961.7.30)

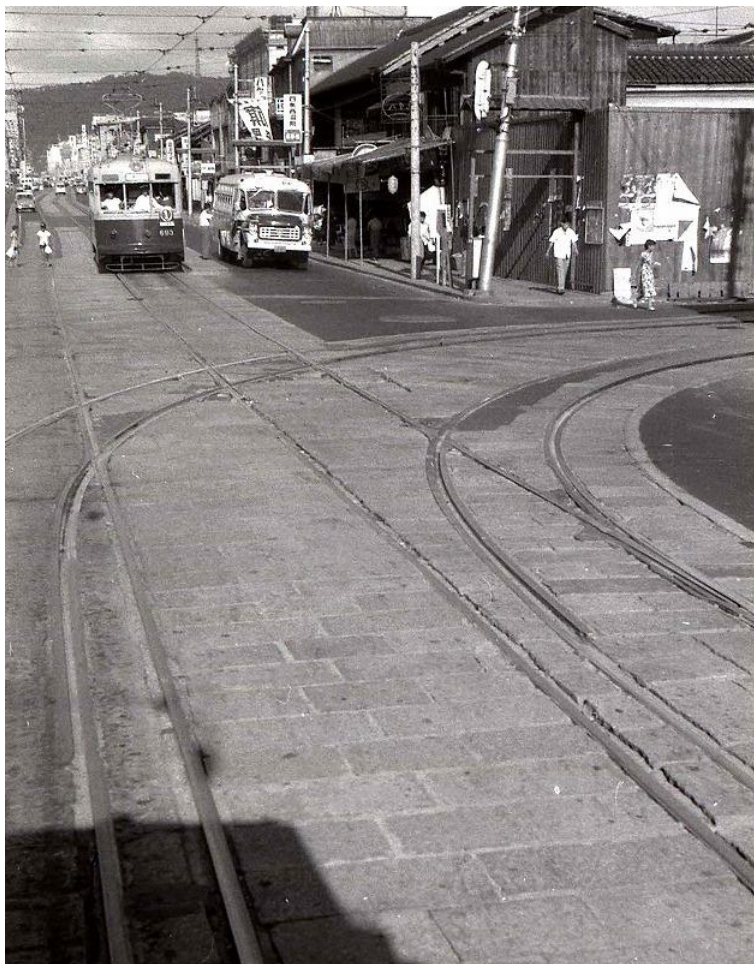


北野車庫 (1961.7.30)

市電の路面図でお分かりのように、N 電は、四条西洞院—四条堀川間は、StandardGauge の四条線と重複していました。そのため、この区間は珍しい3線軌条となっていました。



四条西洞院—四条堀川間の3線軌条



四条通から堀川通への分岐地点